

## エコチル調査事業

委員会の主要意見		主要意見に対する国環研の考え方
現状についての評価・質問など	<p>国が主導しなければ達成が難しい事業であり、国立環境研究所の本領発揮の場として大変重要である。</p> <p>10万人規模の事業が計画どおり推進され、貴重な研究成果を数多く生み出しつつあることは、高く評価される。</p> <p>外部研究者へのデータや試料の提供により、様々な研究者を取り込んで、この分野の発展に大きく寄与できると考える。</p>	<p>事業の必要性や成果についてご評価いただきありがとうございます。引き続き尽力いたします。</p>
今後への期待など	<p>研究成果の一般への発表に際して、国民に心配だけが広まることの無いように、見いだされる課題について健康リスクを回避するための行政的方策のほか、一般の方々における対処法などのリスクコミュニケーションを並行して進めることを期待する。</p> <p>ちょうど中間地点を過ぎた時期でもあり、一度総括的なまとめをするのが望ましい。</p> <p>まだ継続的なデータ収集が必要であり、本事業は基本的に継続すべきと考える。</p>	<p>成果の発表方法・リスクコミュニケーションのあり方につきましては、環境省に設置されたエコチル調査戦略広報委員会とともに、検討いたします。</p> <p>現在までの事業展開の状況については、本年度に環境省「健康と環境に関する疫学調査検討会」において総括的にとりまとめられる予定です。</p> <p>本事業の13歳以降の継続につきましては、本年度に環境省「健康と環境に関する疫学調査検討会」において検討されております。</p>